

本を読んで答えを探そう！

4月19～22日 図書館クイズ大会

こどもの読書週間(4月23日～5月12日)に合わせ、児童対象の「図書館クイズ大会」が、4月19～22日まで町図書館で開かれ、子どもたちはクイズを通して本の調べ方や利用方法を学びました。

毎年恒例の行事で今回は85人が参加。「『小公女セーラ』で、セーラがお父さんに買ってもらった人形の名前は」などの問題に挑戦。参加者は館内の絵本や児童書を探して答えを見つけ、全問正解者には賞状と景品が贈られました。



本には魅力がいっぱい！

4月5日 図書館春のワクワクお楽しみ会

町図書館主催の「春のワクワクお楽しみ会」が行われ、新小学1年生となる子どもたちや親子連れなど35名が参加しました。

子どもたちは、図書館職員によるパネルシアター「ひつじかいとおおかみ」や大型絵本「しりとりのだいすきなおうさま」の読み聞かせを楽しんだあと、最後にクイズ形式で図書館の利用方法を学ぶ図書館O×クイズに挑戦し、正解のたびに歓声をあげていました。

屈足わすれん塾



山本洋さん



新得わすれん塾



動いて歌って笑って体も脳も元気に！

4月17、18日 わすれん塾春夏シーズン始まる
脳いきいき教室わすれん塾が17日に屈足で18日に新得で始まりました。

体操や音楽、園児交流や町内見学など充実した内容と大勢のボランティアスタッフたちの支えにより、開始から14年目を迎えた今でも両地区ともに定員に達する人気ぶり。

初回は屈足地区で浜田正利町長、新得地区で金田将副町長からそれぞれあいさつがあり、社会福祉協議会のスタッフや町保健福祉センターなごみリフレッシュルームの木下雅隆運動指導員による軽運動で体をほぐしたあと、同塾ではおなじみの「世界のヒロシ」こと山本洋さんによる音楽レクでおなかから大きな声を出して童謡などを歌い楽しみました。

同塾は、高齢者自身にもボランティアスタッフとして社会参加を促すことで、支援の担い手となる元気な高齢者を増やすと同時にボランティア自身の介護予防にもつながることが期待されています。

まちの出来事をピックアップ

スポーツシーズン到来！

4月29日 町内各スポーツ施設がオープン

サホロリバーサイド運動広場など町内スポーツ施設が一斉オープン(新得運動公園・屈足公園両パークゴルフ場は4月15日にオープン)となりました。

この日は風も弱く日差しも暖かな絶好の運動日和。敷地内の桜が色づいた町営温水プール「ビーバー」にはオープンを待ちかねた親子連れなどが訪れ、賑やかに水遊びを楽しんでいました。

試合が行われた隣の町営球場では両チーム檄を飛ばしながらの熱戦が繰り広げられ、スポーツ芝生広場では懸命にサッカーの練習をするチームの姿も見られました。



桜の下で焼肉を

5月6日 新得神社山桜まつり

ゴールデンウィーク最終日のこの日、第68回新得神社山桜まつり(実行委員会・ミュージックイベント倶楽部 with 主催)が開催されました。

連休中の雨や気温の低下で桜が保つか心配されましたが、当日はきれいな花を咲かせ来場者を桜吹雪や桜の絨毯で楽しませました。

まつりは新得中学校吹奏楽部の演奏でスタートし、新得音頭やカラオケ、抽選会などで盛り上がりましたが、途中から降り出した雨が最後まで止まず、足早に焼肉を切り上げる方たちも。それでも傘を差して最後までおまつりを楽しみお姿も多く見られました。

練習の成果を楽しんで

4月7日に藤恵会、4月28日に手話コーラス2団体がひまわり荘を慰問

7日、日本舞踊サークル藤間流藤恵会(佐藤智恵子会長)のメンバーが養護老人ホームひまわり荘(御幸直美施設長)を訪れ、踊りを披露しました。

佐藤会長から「今年も1年間の踊りの成果見てもらいたい。今日は小さい子どもも名取りも出る。楽しんで」とあいさつがあり、他町から応援に駆けつけた藤間流の会員を含む10人が全11曲を披露。

この日で会を卒業する高橋武子さんからは「たくさん踊ってきたが今日でおしまい。皆さんのおかげでなんとかここまで続けられた。ありがとうございました」とお話があり、高橋さんが手作りしたティッシュカバーが入所者全員に贈られました。

28日には新得手話コーラスの会(太田泰子会長)の会員31人が訪れ、歌にのせて手話をする手話コーラスを披露しました。

太田会長から「おかげさまで手話コーラスは今年で15周年。これからも歌を通して手話を学んでいきたい。今日ここにきてことができ本当に嬉しい。短い時間ですが楽しんで」とあいさつがあり、森山直太郎さんの「さくら」のほか、「みかんの花咲く丘」、「まりもの歌」、「ふるさと」の4曲を披露。最後のふるすとは入所者と一緒に行い交流を深めました。

